

平成 29 年吹田市高齢者生活支援体制整備協議会 これからの方向性について

第 1 回協議会

「オール吹田」の枠組みで、「(仮称) ちょこっとサポーター(生活支援サポート)事業」という仕組みについて提案する。

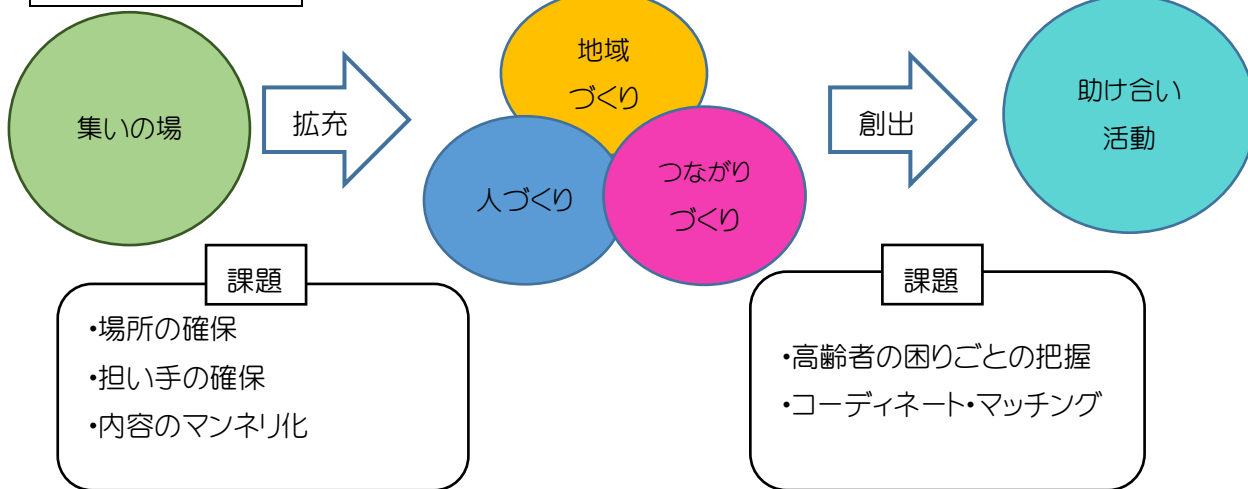
「サービス提供」の視点で議論を進める前に、今の吹田にある地域福祉活動やボランティア活動を活かしていく視点での議論を進めていくことが必要。

方向修正

第 2 回協議会

「今ある活動」を活かして、これから取り組んでいくことはどんなことができるか。アイデア出し。

第 3 回、第 4 回協議会



実現に向けたアイデア

アイデア① 【つながりづくり】 [資料 2](#)
 多くの人々が、「健康」に関して関心が高い。地域で「健康」に関することができないか。
 アイデア② 【我が事・丸ごと】
 【元気な高齢者の社会参加】 [資料 4](#)
 「スタッフ」と「参加者」という役割を分けるのではなく、みんなで取り組んでいくことが必要。高齢者に「出番」と「役割」を作っていく。
 アイデア③ 【人づくり】
 地域活動の担い手の不足が課題。解決のキーワードは、「楽しい・おもしろい・やりがい」というような活動を作っていく。

実現に向けたアイデア

アイデア④
 【高齢者の困りごとの見える化】 [資料 5](#)
 地域包括支援センターやケアマネジャー、ヘルパーが、高齢者からよく聞く「ちょっとした困りごと」を挙げることで、メニュー化につなげていくことができないか。
 アイデア⑤
 【地域での助け合い活動のマッチング】
 高齢者の困りごとのメニュー、リストがあれば、「地域住民」が支援できる内容、できる時間を選んで支援できるのではないか。